

＜令和6年度＞

消防本部 部課長方針



消防長 野 崎 好 伴

総務課長

鈴 木 経 一

予防課長

太 田 栄

消防署長

小 林 順（次長）

令和6年度 部長方針

部	消防本部	消防長	野崎 好伴
---	------	-----	-------

部の運営方針
1. 業務遂行にあたっての基本的スタンス
市民の生命、身体、財産を災害から保護し、被害を軽減するという消防の目的を遂行し、安全で安心して暮らせるまちを目指す。
2. 重点的に取り組む事業とその目標
・市民の安全を守るため防火対象物の違反是正に注力する。 ・消防団員の入団を促進するとともに知識・技術の向上を図る。 ・部隊能力の向上を図る。
3. 部員に求める必要な心構え
・消防に対する市民の期待に応えるため、初心に帰り、日々の鍛練を忘れず、サービスの向上を図る。 ・職員各位が消防体制を維持するため、それぞれ健康に留意する。

令和6年度 課長方針

部課	消防本部 総務課	課長	鈴木 経一
----	----------	----	-------

課の運営方針

- ・課内2係(庶務、警防)一致協力して業務に従事する。
- ・各種行事の企画については「早期調整」、「きめ細かな準備」を心がける。
- ・仕事の効率化に努める。

主要事業

事業名	事業内容	目標
消防団の水害対策	消防団へ救助用ボートを整備する。	消防団の詰所に救助用ボート2艇を整備するとともに、操作方法等の習熟を図る。(3年間で全6分団へ整備予定)
消防署(本署)仮眠室の改修	消防署(本署)の仮眠室を個室化する。	・職員による感染症の感染リスク軽減を図るとともに、プライベート空間を確保し、仮眠室の質の向上を図る。 ・令和6年度は翌年度の工事に向け、設計を行う。
老朽消火栓の補強修理	漏水防止のため、補強修理を行う。	20年を経過した消火栓のうち、補強を要する38カ所の修理を行う。
車両整備事業	消防ポンプ自動車(第6分団)の整備	普通免許でも運転可能な車両を整備する。

令和6年度 課長方針

部課	消防本部 予防課	課長	太田 栄
----	----------	----	------

課の運営方針

- ・消防法令違反の防火対象物や危険物施設への適宜適切な指導及び違反処理を図ること。
- ・消防法令に基づく適切な防火管理体制を指導、是正していくため、課員は業務知識習得への積極的な姿勢を維持すること。
- ・課内の協力協調を重視し、小人数でも効果的な業務遂行を図ること。
- ・防火普及啓発を推進すること。

主要事業

事業名	事業内容	目標
違反是正	消防関係法令違反の是正	市内防火対象物及び危険物施設に関して使用者の安全を保護するため、法令違反に対し適切な指導、違反処理を図る。
防火安全対策の推進	人が多く集まる催しや大火防止の安全対策の推進	露店の指導警戒及び立地により出火時の大火への発展危険が大である小規模飲食店の防火安全対策の推進を図る。
住宅防火対策の普及啓発	火災予防運動や各種イベントにおける住宅防火普及啓発活動	全国火災予防運動や各種イベント等において市民に向けた火災予防PRを実施し、住宅防火意識の普及啓発を図る。

令和6年度 課長方針

部課	消防署	署長	小林 順
----	-----	----	------

課の運営方針

多種多様化する災害に対し、部隊能力を向上させ、被害の軽減に努める。

主要事業

事業名	事業内容	目標
大規模災害対応	震災や水害等、大規模災害に対する対応強化	激甚化する震災や自然災害、また住宅密集地域における大規模火災に対応するために、今年度に配備予定の資機材搬送車や新たに導入された救助用ボート等を用い、効果的な訓練を実施する。さらに、近隣市との合同訓練(水害・火災等)を計画し、その枠組みを超えた連携の構築を図る。
特殊災害対応	特殊災害に対する対応強化	サリン等による人身被害が発生した事案に即時対応できるよう、蕨市地域防災計画に基づいた部隊展開をシミュレートし、特殊災害対応機材を活用した実動訓練を実施する。また今年度においても専門教育機関に職員を派遣し、さらなる対応力強化を図る。
効果的な部隊運用	通信指令能力の向上と部隊運用	市内にて大規模な水害が発生した場合においても、災害対応の中核としての機能を維持できるよう、新たに高所へ移設した指令室では、効率的で効果的な部隊運用を図ることを目的とし、更なる通信指令能力の向上に努める。
特定施設の被害軽減	警防計画の作成	大規模で不特定多数の人が出入りする施設や、火災発生時に避難等が困難であると予想される施設の警防計画を更新、または新規作成し、被害の軽減を図る。
立入検査	効果的な立入検査の実施	火災の発生を未然に防ぐことを目的に、防火対象物に対し効果的な立ち入り検査を、50件を目標とし実施する。